

平成27年 秋の叙勲で瑞宝単光章に社会福祉功労で元養護老人ホームときわ寮主任介護支援員の松本佐智子さんが受章されました。

昭和63年4月に日高郡十ヶ町村及び御坊市老人福祉施設事務組合立養護老人ホームときわ寮の臨時寮母として勤務し、その後は調理員、寮母、特別養護老人ホームときわ寮川辺園の介護員を経て平成23年に主任介護員、翌年には養護老人ホームときわ寮の主任介護支援員を務めた。

今年3月末に退職するまで27年間介護に携わり、高齢者をケア。専門性を身につけようと介護福祉士の資格も取得し「より快適に、より安心・安全に生活していただけるよう支援・介護」を信条に、高齢者一人ひとりに合わせた介護、家族とのコミュニケーションに努めた。

仕事で悩んだ時期もあったが、職場の上司や先輩、入所者の「ありがとう」の言葉に励まされ「大変なこともあったけれど、楽しいことの方が多かった」と話す。主任介護職員、主任介護支援員になってからは後輩の指導や育成にも努め、職員のスキルアップや施設運営にも尽力した。

これまでに全国老人福祉施設協議会長表彰、県知事表彰「白梅賞」、社会福祉功労で厚生労働大臣表彰を受けている。

**松本さんの話** このような大きな章を頂き、とてもありがたい。27年間はあっという間で、続けてきて良かったと思います。

紀州新聞の記事より

管理者の森下町長へ受章報告（平成27年11月4日）

